

Green Sustainable Industrial Chemistry への取り組み -持続可能社会にむけた GSC 技術実用化の課題-

瀬戸山 亨

三菱化学科学技術研究センター合成技術研究所

【要 旨】

21世紀の地球環境にとって人工光合成による再生可能エネルギーの獲得は最も大きな課題のひとつであり、さまざまな技術的アプローチ法によって研究開発が進行中である。その中で、バイオマス生産的アプローチ、有機金属錯体的アプローチ、半導体触媒的アプローチについて現状の技術水準、実用化までに解決すべき課題、周辺技術開発を含めた事業化、社会インフラの転換のシナリオについて紹介する。

また見えないもの／見えにくいものを見る必要性という視点での界面科学的アプローチとしての放射光科学の人工光合成研究への期待を紹介したい。

【略 歴】

- 1983年 : 東京大学工学部化学エネルギー工学科 修士卒
三菱化学 横浜総合研究所 理化研究所 配属
触媒開発に従事
- 1991年 : パリ第六大学 派遣留学
- ～1993年 無機酸化物上での配位化学の研究
- 2001年 : STRC ポーラスマテリアル研究所長 兼 STO
- 2002年 : STRC 不均一触媒研究所長
- 2003年 : MCRC 無機材料研究所長 (兼務)
- 2009年 : MCRC 合成技術研究所長
- 2010年 : MCRC 無機系機能材料研究所長 (兼務)
TKI Research Director(兼務)
- 2011年 : fellow



受賞歴

- 2002年 石油学会賞 (技術賞)
- 2008年 GSC 賞 (経済産業大臣賞)